

徳島県流域下水道事業経営戦略の改定（案）について

1 改定の趣旨

「旧吉野川流域下水道」において、下水道整備の進展に伴って増加する流入汚水を適切に処理するための「新たな設備の増強」や、平成 21 年の供用開始後 15 年を経過することから計画的な「老朽化対策」を経営戦略へ反映するため、「徳島県流域下水道事業経営戦略(令和 2 年 3 月)」を改定し、経営の健全化・効率化を推進するもの。

2 主な改定内容

(1) 計画期間

（現 行） 令和 2 年度 から 令和 11 年度まで

（改定案） 令和 7 年度 から 令和 17 年度まで

(2) 旧吉野川浄化センターの整備

① 「水処理施設の増設」（処理能力の増強）

② 設備の改築更新等における「ストックマネジメントの考え方」の導入

3 今後の予定

令和 6 年度内に改定、公表

徳島県流域下水道事業経営戦略（案） 概要

I 趣旨

位置づけ

将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画

計画期間

令和7年度から令和17年度まで（11年間）

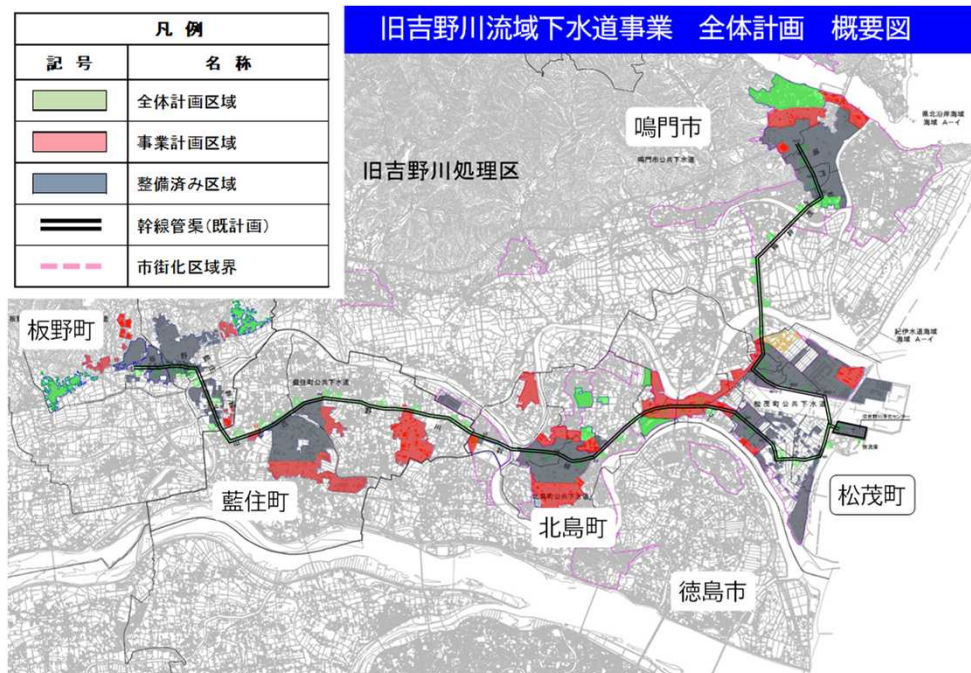
改定のポイント

流入水量増加 ➡ 水処理施設の増設
施設の老朽化 ➡ ストックマネジメント計画

II 事業の概要

事業認可	平成12年度
供用開始	平成21年度
県の役割	終末処理場及び幹線管渠の整備、管理運営
市町の役割	幹線と各戸を繋ぐ管渠の整備（面整備）

凡 例	
記 号	名 称
	全体計画区域
	事業計画区域
	整備済み区域
	幹線管渠(既計画)
	市街化区域界



III 経営の基本方針

基本理念

「未来に引き継げる下水道」の実現

基本方針① 持続的な下水道機能の堅持

成果目標 放流水の水質基準適合率：100%維持

（主な取組） 流入水量の増加に応じた計画的な水処理施設の増設
ストックマネジメント計画に基づく施設の改築更新 等

基本方針② 災害に強い下水道の実現

成果目標 大規模災害発生時における機能の維持又は早期復旧

（主な取組） 不断のBCP見直し、災害時支援協定の締結、DX 等

基本方針③ 経営基盤の強化

成果目標 経常収支比率：概ね100%以上

（主な取組） 接続促進、広域化・共同化推進、GX 等

IV 投資・財政計画

